

5 ジェンダー平等を 実現しよう



▶特集：SDGsの5番目は「ジェンダー平等」

最近見かけるカラフルなマーク。世界とわたしたちの暮らしに関わる、国連の目標です。今回の特集は、このSDGsと、男女共同参画についてです。

SDGsという世界の目標と、わたしたちの身近な「ジェンダー平等」を考えます。

持続可能な開発目標（SDGs）とは？

2015年に国連に加盟するすべての国が全会一致で採択したアジェンダをもとに、ジェンダー平等だけでなく17のゴールと169のターゲットが2030年までに達成する目標としてつくられました。具体的には、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などの課題が挙げられています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ジェンダー平等はすべてのゴールと関わる

今、男女共同参画を達成したと主張できる国はありません。法律や文化など、複数の障害が、女性の収入を少なくし、選択肢を少なくし、家庭や公共の場で平等な立場に立てなくしています。しかし、女性がもっと社会で活躍できれば、社会は変わります。5番目のジェンダー平等を実現することは、他のゴールを達成することにつながっています。ジェンダー平等は、平和で豊か、かつ持続可能な世界に必要な基盤でもあります。

立場によって変わる「課題」

世界



- ・人口が増加
- ・食糧不足へ
- ・環境問題、エネルギー問題、貧富の格差

日本



- ・少子高齢化
- ・貧困や格差
- ・過疎化する田舎
- ・人口密集する都会

わたしたちの「まち」



- ・地域活動の担い手不足
- ・自然災害への不安
- ・高齢化と介護など

それぞれの立場で「持続可能」な社会をめざす

「誰一人取り残さない」社会へ

ジェンダー平等は、基本的人権です。誰一人取り残さない。高齢者も、障害者も、外国人も、そして女性も、誰もが、その人らしく生きる権利が「人権」です。SDGsは、人権が守られた、暮らしやすい社会にするための目標でもあります。そのために、地域でもジェンダー平等を実現していきたいとすてっぶは考えています。

豊中市では

豊中市総合計画の分野別計画にSDGsを反映させて、全庁での取組みを推進。「誰一人取り残さない社会の実現」をめざしています。